

2020はこだて科学寺子屋 集中講座

●市民公開講座 ●学生向け単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」2単位

●南大阪地域大学コンソーシアム 広域単位互換制度対象科目「科学技術コミュニケーション入門」2単位

8/8^土～8/10^{月祝}

【オンライン(Zoom)開催】
単位認定には3日間の受講が必要です。

参加費無料
要・事前申込

「健康」と「科学」をテーマに 「ジブンゴト」として捉えられる サイエンスコミュニケーションを 考えよう

◆担当講師

辻 義人

(公立はこだて未来大学メタ学習センター 准教授)

◆ゲスト講師

依田 竣介

(はこだてみらい館 スタッフ)

◆開講日時

8/8^土 10:00～17:00 (出欠受付開始：9:00～)

※ログインおよび出欠確認等の混雑緩和のため、
開始時刻の10分前を目安にログインをお願いします。
※10:00～12:00の時間帯のみ、公開講演会として
科学寺子屋受講生以外の参加者にも公開します。

8/9^日 10:00～17:00 (出欠受付開始：9:00～)

8/10^{月祝} 10:00～17:00 (出欠受付開始：9:00～)

◆定員：30名

公立はこだて未来大所属学生：15名
CCH 加盟校・南大阪地域大学コンソーシアム加盟校所属学生：10名
一般の方：5名

◆単位履修の問合せ・申し込み

単位希望の学生は、所属校に問い合わせ、お申し込みください。

◆申込締切：7/22^水 ※申込期間は学校により異なります。

◆一般の方のお問い合わせ・申し込み

土曜のみ、土日のみなどの部分参加の申込みも歓迎いたします。
公開講演会のみ参加も歓迎します(要事前申込)。

専用サイトからお申込み下さい(メールでは受付しません)

<https://sciencefestival.connpass.com/event/179047/>
定員となり次第、締め切ります。

◆サイエンス・サポート函館 事務局(担当：立花)

お問合せフォーム <https://sciencefestival.jp/contact/>

E-mail info@sciencefestival.jp

Tel 0138-34-6527 / Fax 0138-34-6564



「健康」と「科学」をテーマに「ジブンゴト」として捉えられるサイエンスコミュニケーションを考えよう

はこだて科学寺子屋は、2009年、「はこだて国際科学祭」を始めとする、科学技術と社会をつなぐ科学技術コミュニケーション活動の担い手を函館の地で生み育てることを目的に開始されました。

「はこだて国際科学祭」は、開始当初より「市民がつくる市民のための科学祭」の理念を掲げ、はこだて科学寺子屋の参加者有志の手によって、科学ボランティア組織「科学楽しみ隊」が自然発生的に発足しています。その後、2011年の東日本大震災、2018年の北海道胆振東部地震、そして2020年の新型コロナウイルスの感染拡大等、時代のターニングポイントとともに、科学技術コミュニケーションに期待される社会的な役割も転換の時期を迎えています。

今年は科学寺子屋の原点に立ち返り、「科学楽しみ隊」のメンバーで、函館で現役の科学コミュニケーターとして活躍されている依田峻介さんをゲスト講師として呼び、はこだてみらい館で行っている、世代や分野を超えた対話の場の実践についてお伺いします。

転機の時期を迎える今だからこそ、テクノ手芸と呼ばれる、簡単な科学工作を行うオンラインでのワークショップをつくるプロセスを通じて、コミュニケーションの難しさを体感しようと思います。

テクノ手芸に必要なパーツは運営の方で準備しますので、あとはネット環境とやる気さえあれば大丈夫！

みなさま、ふるってご参加ください！

【オンライン (Zoom) 開催】

2020はこだて科学寺子屋 公開講演会

はこだてみらい館における「サイエンスコミュニケーション」

8/8^土 10:00 ~ 12:00 (9:30 受付開始)

- ◆対象：どなたでも
- ◆主催：サイエンス・サポート函館

◆受講料無料 申込み必要 (申込みフォームからお申込み下さい)
<https://sciencefestival.connpass.com/event/179047/>

- ◆定員 250名 先着順、事前申込制

みなさんは、JR函館駅前のキラリス函館にある、はこだてみらい館に行ったことはありますか？

はこだてみらい館は、科学をベースとした先端コンテンツや多彩なワークショップの体験を通してオドロクチカラを育み、街を元気にする活動を生み出す施設です。

子どもだけでなく、中高生から大人まで、幅広い層に向けて続々と新しい企画を立ち上げ情報発信を続けている、はこだてみらい館における「サイエンスコミュニケーション」の活動の一端をご紹介しますとともに、ややもすれば子ども対象と捉えられがちな「サイエンスコミュニケーション」が、なぜ大人にとっても重要なものかについても考えてみたいと思います。

【オンライン接続についての留意事項】

※公開講演会を含め、連絡の都合上、いずれも事前申込が必要です (connpass にて受付)

※すべてオンライン (Zoom ミーティング) での開講となります

※Zoom の基本的な使い方におけるレクチャーは行なわない予定ですので、事前に各自でご準備下さい

※円滑な受講のため、パソコンでの参加を強く推奨します。タブレットからの参加も可能ですが、スマホはご利用いただけません

※アクセス URL は、受付後、追ってメールにてお送りいたします

◆担当講師



辻 義人 (つじ よしひと)

公立はこだて未来大学
メタ学習センター 准教授

旭川出身。専門分野は教育心理学、教育学。

日ごろから「わかりやすく説明する方法」方法に興味があり、特に「私たちはどのように、相手に合わせて説明内容や表現を変えているのか」というところに注目し検討を続けている。函館での生活は 4 年目となるが、まだまだ探索が必要と考えている。

◆ゲスト講師



依田峻介 (よだ しゅんすけ)

はこだてみらい館 スタッフ

札幌市出身。北海道教育大学函館校を経て、現職。

サイエンス・サポート函館 科学楽しみ隊に所属し、科学実験パフォーマンスの井上千加子さんに師事。道教育大函館校在学時に、ディスカッションで知識を深め合う団体を創設し、分野を超えた対話の場づくりを進めてきた経験を持つ。はこだてみらい館では「よだっちはかせ」として現在までに 48 テーマの実験ショーやワークショップ等を開発。